

2013 年 11 月 8 日

次世代省エネ型バルクキャリアー “LYDIA CAFIERO” 命名・引渡し

ジャパン マリンユナイテッド株式会社（社長：三島 慎次郎，本社：東京都港区）は、11 月 8 日（金）、津事業所（三重県津市）にて建造していた AUGUSTEA PACIFIC Pte Ltd. 向け次世代省エネ型バルクキャリアー（G81BC）“LYDIA CAFIERO（リディア カフィエロ）” を引き渡しました。

本船は、種々の省エネ対策を講じて、燃料消費量を劇的に下げることにより、GHG（温室効果ガス）低減に成功した、次世代省エネ船「G シリーズ」のパナマックスバルクキャリアーです。

本船は、省エネ附加物の他に、低風圧型居住区や波浪抵抗増加を減少する LEADGE BOW（レッジバウ）、低摩擦抵抗塗料を採用しています。GHG 削減に加え、燃料油タンク保護規則、NOx 排出規則 Tier II に適用し、さらに環境に配慮した船型となっています。

【本船概要】

主要寸法	: 全長 229.00m x 幅 32.26 m x 深さ 20.00 m x 喫水 14.45 m
載貨重量	: 81,000 トン
総トン数	: 43,200 トン
主機関	: WARTSILA 6RT-flex58T
航海速力	: 14.50 ノット
船級	: BV
船籍	: シンガポール
建造所	: ジャパン マリンユナイテッド（株）津事業所